

# 副校長・教頭だより 『地域に開かれた学校 7月号 ～学校評議委員会開催～』

梅雨の雨がトマトやナスの植えられた学級菜園に降り注いでいましたが、いよいよ梅雨が明けました。6月中の梅雨明けは、過去最も早いそうです。これから水泳学習も楽しみな暑い夏がやってきます。体調を崩さないように食事、水分、睡眠を十分とり体のリズムを整えていきましょう。

さて、先日6月26日に平成30年度学校評議委員会がおこなわれましたのでその様子をお知らせします。学校評議委員会は、学校が保護者や地域の方の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくために設けられた会です。鶴見養護学校では、年3回開催し、子どもたちの学校生活や学習の様子、学校設備面等を参観していただきながら、学校の取り組みについて意見交換をしています。

今年度の評議員の方々9名をご紹介します。(五十音順)

- 伊藤 甲之介 様 (鎌倉女子大学児童学部児童学科准教授)
- 板山 茂樹 様 (横浜市地域ケアプラザ所長)
- 上原 良廣 様 (本校後援会会長)
- 小形 秀夫 様 (株式会社富士電機フロンティア代表取締役社長)
- 上村 恵理子 様 (神奈川県立岸根高等学校校長)
- 齋藤 鉄郎 様 (鶴見警察署生活安全課長)
- 瀧澤 純子 様 (本校PTA会長)
- 永合 秀行 様 (横浜市福祉法人 済生会支部神奈川県済生会 金沢若草園園長)
- 細田 優子 様 (横浜市消防局鶴見消防署駒岡出張所長)



第1回目は、今年度の学校教育目標について次の3つの視点でお知らせしご意見を伺いました。

## その1【系統性のあるキャリア教育】

鶴見のグランドデザインを作成し、そのうえで各学部教科のシラバスをまとめます。何をどのように学ぶのか、どんな力をつけて欲しいのか検討しながら学習を進めます。また、今年は体育の授業改善に取り組みます。『わかる できる 楽しい』をキーワードに授業を考えます。

## その2【卒業後を見据えた取組】

進路学習の内容を整理し、体験学習を通して、自己肯定感を高め、卒業後の自立と社会参加を推進します。また、福祉や企業の方から卒業後に必要な力について考える研修会を引き続き実施します。

## その3【安全・安心な学校生活】

給食、通学、健康など安全安心な学校を目指します。地域と取り組む環境整備は7月31日に、実際に見合った防災キャンプは10月26～27日に計画しています。

評議員の方々からは、『キャリア教育の個別のねらいの重要性』『iPad等の効果的な利用の推進』『意欲を引き出す授業の工夫』『卒業後のアフターフォロー』『卒業後の体力維持の課題』『地域と連携した防災対策の推進』等についてご感想やご意見をいただきました。いただいたご感想・ご意見は鶴見養護学校の教育活動に活かしていくように努めていきます。よろしくお願いたします。